

## ■ 病院概要

■ 開設者名 新潟市 ■ 病院長名 片柳 憲雄

### ■ 標榜診療科目

血液内科、内分泌・代謝内科、腎臓・リウマチ科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、脳神経外科、小児科、放射線診断科・放射線治療科、新生児内科、総合診療内科、感染症内科、消化器外科、乳腺外科、心血管外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、眼科、産科・婦人科、皮膚科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、形成外科、病理診断科、精神科、脳卒中科、救急科、緩和ケア内科、ペインクリニック外科

### ■ 使用許可病床数

	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	652床	605.5人
感染症	8床	0.0(0.025)人
精神	16床	11.1人

■ 一日平均外来患者数 1,116.9人

■ 医師数 常勤 146人 非常勤 41.7人

■ 年間手術件数 7,080件

■ 年間出産件数 605件

■ 病院併設施設 救命救急・循環器・脳卒中センター、総合産産期母子医療センター、日帰りドック、健康管理室、病児保育室

■ 救急告示病院の指定 有

■ 学会指定施設の状況

日本内科学会認定教育病院、日本リウマチ学会教育施設、日本食道学会全国登録認定施設、日本頭頸部外科学会認定施設、日本血液学会認定血液研修施設、日本輸血細胞治療学会I&A認証施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本透析医学会専門医制度教育関連施設、日本神経学会専門医制度教育施設、日本呼吸器学会認定施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本循環器学会認定専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設、日本静脈経腸栄養学会NST(栄養サポートチーム)稼働施設、日本栄養療法推進協議会NST稼働施設認定、日本小児科学会専門医制度による研修施設、日本小児循環器学会認定小児循環器専門医研修施設、日本外科学会専門医制度による修練施設、日本消化器外科学会専門医制度修練施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本肝胆膵外科学会高度技能医研修施設B認定、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設、呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設(関連施設)、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本脳神経外科学会専門医訓練施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本小児外科学会専門医制度認定施設、日本乳癌学会認定施設、日本形成外科学会専門医制度認定施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関、オートプシー・イメージング学会AI読影参加施設B、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本ペインクリニック学会認定指定研修施設、日本感染症学会認定研修施設、日本病理学会病理専門医制度認定病院B、日本臨床細胞学会認定施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本救急医学会指導医指定施設、日本集中治療医学会専門医研修施設、日本周産期・新生児医学会専門医制度基幹研修施設(新生児及び母体・胎児)、日本腎臓学会研修施設、日本高血圧学会専門医認定研修施設、日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設、日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設、日本食道学会食道外科専門医認定施設、ステントグラフト実施設(腹部大動脈瘤・胸部大動脈瘤)、日本手外科学会認定研修施設、日本輸血細胞治療学会認定医制度指定病院、日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学研修施設、日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定乳房再建用インプラント(一次二期再建、二次二期再建、二次再建)・エキスパンダー(一次再建、二次再建)実施設、日本肝臓学会認定施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本甲状腺学会認定専門医施設、日本消化器外科学会対象術連携施設、日本専門医機構産婦人科領域専門研修プログラム連携施設、心臓血管麻酔専門医認定施設



## Access



- 新潟駅南口からバス「新潟市民病院前」下車すぐ
- 新潟駅南口からタクシー約15分

照会先  
 教育研修室  
 TEL 025-281-5151 (内3113)  
 FAX 025-281-5187  
 E-mail kensyu@hosp.niigata.niigata.jp

病院見学の受入 随時  
 申込方法  
 氏名、大学名、学年、見学日、診療科を具体的に明記して、E-mailでお申し込みください。

## 研修概要

研修プログラムの目的と特徴 (平成30年度研修医)

### ■ 目的

プライマリ・ケアに対応でき、社会ニーズにこたえることのできる自立した臨床医になるため、広く医療に関する事項を理解するとともに、医の倫理を遵守し、総合的な臨床能力を身につける。

### ■ 特徴

- (1) 管理型臨床研修病院として、一貫したプログラム下での研修体制
- (2) 併設する3次救命救急センターでの徹底した救急診療トレーニング
- (3) プライマリ・ケアに重点を置いたプログラム
- (4) 選択科を設置し、研修医の意思と自主性を尊重
- (5) 豊富な経験症例数
- (6) これまでの臨床研修指定病院としての研修教育実績

### ■ 研修プログラム

新潟市民病院臨床研修 一般プログラム2015 定員12名

	2W	7W	7W	6W	6W	4W	8W	8W	2W	2W	
1年目	オリ	血液 内分泌・代謝	呼吸器 総合診療	消化器	循環器	救急1 (麻酔科)	救急2 (救急科)	外科系	GW	夏休	
2年目	2W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	26W			
	正月	腎臓・ リウマチ	脳神経	地域医療	精神科	小児科	産科	麻酔科 必修選択	自由選択		

### ■ 協力病院・協力施設

河渡病院、新潟信愛病院、新潟南病院、佐渡市立両津病院、新潟県立津川病院、新潟県立坂町病院、新潟大学歯学総合病院

### ■ 研修医の待遇 (平成30年度研修医)

1年次月額 基本給 : 約343,000円  
 当直手当 : 20,000円/回・月約4回  
 時間外手当 : 約47,000円  
 通勤手当 : 有  
 月額平均 計 : 約470,000円

2年次月額 基本給 : 約384,000円  
 当直手当 : 20,000円/回・月約4回  
 時間外手当 : 約56,000円  
 通勤手当 : 有  
 月額平均 計 : 約520,000円

### ■ 勤務体制

勤務時間 : 8:30~17:00  
 日直 : 8:30~17:15  
 当直 : 17:15~8:30

### ■ 研修医当直回数 (月平均) 4回/月

当直時の勤務体制 (研修医以外の当直医数) 8人  
 (当直研修医数) 2人

#### 1. 研修医1年生の当直業務

- ※基本的には準夜帯の小児科を含む患者の初期診療に参加する。
- ※深夜帯は、基本的には院内待機として仮眠をとる。
- ※患者多数時や重症患者の対応でコールすることもある。

#### 2. 研修医2年生の当直業務

- ※主とした業務は、深夜帯に救急医及び小児科医の指導の下に診療を行う。(患者からの電話対応を含む)
- ※準夜帯は、基本的には院内待機とし仮眠をとってもよい。
- ※患者多数時や重症患者の対応でコールすることもある。
- ※当直明けは休みとする。

### ■ 研修医の学習環境

居室 専用の研修医室 有、専用の机 有  
 専用の電子カルテ 有  
 図書・文献 医局図書室は24時間利用可能  
 国内図書 6,977冊 国外図書 1,440冊  
 国内雑誌 167種類 国外雑誌 77種類  
 医中誌Web、Up To Date、CLINICALKEY、Medical Online利用可能。

インターネット環境 各自の机からインターネット接続可能

### ■ 研修の宿舎の有無など

宿舎 無  
 食事 ・朝食・昼食・夕食とも、決まった時間までに注文をする職員食堂から医局まで届けられる。  
 ・院内レストランの営業時間  
 平日 午前8時~午後7時  
 土日祝 午前9時~午後3時  
 ・院内喫茶の営業時間  
 平日 午前7時30分~午後7時  
 土日祝 午前11時~午後7時  
 ・院内売店の営業時間  
 平日・土日祝 午前6時30分~午後9時  
 ・近隣にコンビニエンスストア 有

## 医学生の皆様へ

### <ぜひ新潟市民病院の見学へ>

救急科 吉田 暁  
 「研修先の病院はどうやって選んだらよいですか?」  
 見学に来られる学生からよく質問されます。そんなとき、私は3つのポイントをお伝えします。  
 ①救急医療に積極的に取り組んでいて、研修医が診療の主役になれる病院。当院は年間5000台以上の救急車を受け入れ、軽症から重症まで、外傷や内因性疾患など多彩な病態の患者さんの対応をしています。必ず救急医のバックアップがある状態で、研修医が主役となりファーストタッチしてもらっています。  
 ②多くの専門科があり、指導医が充実している病院。当院には34診療科があり、熱心な指導医が多く在籍。きつとロールモデルを見つけることができます。  
 ③教育的な雰囲気をもつ病院。当院は1977年より臨床研修医の受け入れを始め、これまでに250人以上が巣立っています。長い伝統、多くの経験から、医師だけでなくメディカルスタッフを含めて病院全体として教育をしようという気持ちが溢れています。ぜひ一度見学にいらしてください。



### <市民病院での研修>

#### 第39期研修医 (平成28年卒) 中川 夏樹



新潟市民病院は3次医療機関であり、新潟県という広大な県の中心的医療機関です。そのため、最重症の疾患、緊急性の非常に高い疾患や、ほかの病院では診断に苦慮した症例の診療にあたることができます。一方で、市中病院として、また「断らない医療」を掲げる病院の方針から、ある程度疫学通りの頻度で各疾患の患者さんが来院されます。その結果、各科をローテーションする研修医としては、患者さんが多い疾患には多く出会い、少ない疾患には少なく出会い、しかしなかなかお目にかからないような疾患にも出会うチャンスがあり、という環境で診療をすることができます。

また、歴史的に教育に力を入れていることも特徴的で、上級医の温かい指導のもと徐々に臨床能力を高めることができます。環境としてもモチベーションの高い先輩医師、同僚、パラメディックスタッフが多い点、和文、英文とも多くの医学雑誌にアクセスできる点、十分な台数の診療端末(カルテが開けるコンピュータ)がある点、きれいな仮眠室・当直室がある点など、非常に恵まれています。

百聞は一見に如かずということで、ぜひ一度見学にいらっしゃることをお勧めします。

